

夢をかなえるために 学んだことを 自分の言葉で 語る子どもを育てる

学校教育目標

「夢をもち たくましく」

心を磨き
知性を高め
身体を鍛え
共に生きん北広島市立
東部中学校

ひろがり

笑顔と輝きが広がることをめざして

東部中学校長 北村 安雄



新型コロナウイルスの感染拡大により、北海道の多くの学校は、2月下旬から臨時休校に入りました。様々な制約の中で、卒業式や分散登校を行い、およそ一ヶ月以上を経て、ようやく学校が再開し、令和2年度をスタートすることができました。

4月6日には、新入生137名を迎えて、入学式を行いました。保護者も来賓も上級生の姿もなく、新入生は全員マスク姿で、大変寂しいものがありましたが、生徒のまなざしからは、これからの中学校生活にしっかり取り組んでいこうという決意が感じられ、意を強くしたところです。

私からは、「義務教育のまとめに当たる中学校3年間は、言わば、大人になるための準備をするところだ」とお話しいたしました。中学校を終えれば、そこから先は自分の選んだ道を自分の責任で歩いて行かなければなりません。「自分は将来どんな職業に就き、どんな生き方をしたいのか」ということを考え、様々な活動を将来の社会や自分の姿と関連づけて取り組むことが求められるのが中学校時代です。

東部中学校では、「夢をもち、たくましく」生きることを学校の目標にしています。将来の夢を持っている人もまだ思い描いていない人も、東部中学校を卒業するころには、自分の夢を持っていて、その夢を叶えるために、中学校3年間でどんなことを学んできたのか、これからどんな道筋を歩んでいくのかを、自分の言葉で堂々と語れるようになってほしいと願っています。

さて、令和2年度の東部中学校の重点目標は、『笑顔と輝きにシンカを！ ～進化・深化・真価～』といたしました。

具体的には、一人一人の生徒の良さ（笑顔と輝き）を引き出し、それが、地域や社会にも波及していくことをめざして、教育を推進して参りたいと存じます。様々な機会を通じて、この重点と関連させながら、子どもたちの様子や学校の状況を発信して参りたいと存じます。

中学校は、次年度の新学習指導要領に基づく、教育課程の完全実施に向けて、今年度が移行期の最終年度になります。社会に開かれた教育課程やカリキュラムマネジメント、主体的、対話的で深い学び、そして、小中一貫教育の充実など、進化、深化させなければならないことは、数多くありますが、生徒が生きる未来において、真価が発揮されることをめざして、取り組みを進めたいと思っています。